

1年間ありがとうございました

歩くうた

谷川俊太郎

ひとは歩く てくてく歩く

ひとは歩く のそのそ歩く

ひとは歩く ぶらぶら歩く

ひとは歩く 道がなくても

ひとは歩く 砂漠をこえて

ひとは歩く よそ見しながら

ひとは歩く 好きなほうへ

ひとは歩く 今日から明日へ

ひとは歩く 自分の足で

ひとには歩く自由がある

ひとは歩く すたすた歩く

ひとは歩く とぼとぼ歩く

ひとは歩く のしのし歩く

ひとは歩く 扉をあけて

ひとは歩く 錠をこわして

ひとは歩く 壁をつきぬけ

ひとは歩く 大地を踏んで

ひとは歩く 国境こえて

ひとは歩く ひとを助けて

ひとには歩く自由がある



3月18日（金）の卒業式で、これから長い人生を歩いていく卒業生に贈った詩です。

明るい気分ですたすた歩く日があれば、悲しくてとぼとぼ歩く日もあるでしょう。それでも自分の足で歩き続けよう。道がないなら自分で切り開き、勇気を出して困難を乗り越えて、目的地にたどり着くまで、あきらめないで進んでいってほしい。寄り道したってかまわないよ。

詩の中には、「国境を越えて」とあります。グローバル社会を生きる子どもたちは、広く世界に目を向けて、世界中の人と助け合い、力を合わせて、平和な未来の世界を自分たちの手で作り上げていってほしい。

今この時も、世界では自由を奪われて苦しんでいる人々がいます。最後の行には、「人には歩く自由がある」とあります。理不尽な圧力に屈することなく、自由な心で、人生の道を力強く歩いていってほしいという願いをこめて、この詩を贈りました。

長く歩き続けるには、体力が必要です。川上小学校での学びによって、人生を歩くための体力と呼べる「基礎的な学力」や「豊かな心」、「健やかな身体」を育てるため、今年度も教職員一同全力で取り組んでまいりました。行き届かないところは、保護者、地域の皆様に支えていただき、令和3年度の教育活動を終えることができました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。来年度も、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。